



＊ レーザーマーキングソリューション  
MULTIVAC 社の用途事例

## MULTIVAC 社とビデオジェット - 世界の一流ブランド 2 社の提携

MULTIVAC 社は包装機では世界有数の実績を誇り、サーモフォーミング成形の分野では世界をリードする企業です。取り扱い製品には、トレイシーラー、真空チャンバー包装機、平ベルトコンベヤ、検査システム、可全ターンキーソリューションなどがあります。MULTIVAC 社の従業員はグループ全体で世界中に 4,200 名、そのうちメミンゲンにあるドイツ本社では 1,500 名が働いています。

MULTIVAC 社は創業 1961 年、独自の専門知識と業界をリードするノウハウを生かし、食品、工業、医薬および医療業界向けにトレイシーラー、サーモフォーミング成形機、真空チャンバー包装機の製造および販売を行っています。

ビデオジェットは速度と信頼性を完全に両立できるマーキングシステムを提供し、グローバル規模のサービスネットワークでお客様をサポートします。本用途事例では、ビデオジェットの製品とサービスが MULTIVAC 社の包装機械にどのように活用されているかを紹介します。

MULTIVAC 社とビデオジェットはどちらも世界中で事業を展開し、世界各国の顧客とプロジェクトをサポートしていますが、両社の真の強みは企業としての根本姿勢にあります。両社とも、お客様に対するトータルサポートとあらゆるニーズに応える最適なソリューションを提供することを最も重要視しています。MULTIVAC 社のエリアセールスマネージャーである Thomas Marquardt 氏は、典型的なソリューションプロセスについて次のように説明しています。

「いつも、まず最終的な包装パッケージデザインの検討から始め、それからカスタムソリューションの検討を始めます。この過程で、包装サイズから細部に至るまでの基本的な問題点を洗い出します。この時、開封を極めて簡単に行える封止状態にするか、とにかく再封できることを重視するのかについても検討します。」

MULTIVAC 社は各顧客のニーズに合わせてまずコアとなる包装機械の設計・制作と設置を行います。そして、顧客の用途に合わせてモジュールシステムとしてその他の部品を選択して組み込みます。

「ビデオジェットの製品を  
使うことで非常に  
スムーズな稼働が期待  
できます」

MULTIVAC 社  
エリアセールスマネージャー  
Thomas Marquardt 氏



MULTIVAC 社は 70 社以上の系列子会社を保有し、世界中で事業を展開しています。この会社は、1,000 人を超えるアドバイザーとサービス技術者がノウハウと専門知識を生かし、顧客のサポートと導入されている全 MULTIVAC 製品の最高の稼働率を保証しています。

そのようなモジュールシステムの例として自社のラベル器や検査機がありますが、信頼できるメーカーから部品を調達する場合もあります。MULTIVAC 社は、ラベリング技術を重要な技術分野と考えており、ビデオジェットの技術も検討対象となっています。一つの技術には、ソリューションへの多種多様なアプローチがあり、さまざまな技術の方式があります。「当社は顧客のあらゆるニーズに応えます」と、Marquardt 氏は強調します。一般的には、包装機とラベリングシステムは統合されることが多いわけですが、新しい包装機械を導入するときには、顧客先にあるラベル機を接続して使用する場合もあり、顧客自身が用途に合ったプリンタをメーカーから直接購入する場合があります。ビデオジェット製品を購入した場合、信頼性、効率性、使いやすさに加え、世界規模のサービスネットワークがあるという安心感も得ることができます。

MULTIVAC Marking & Inspection 社は、新しいプリンタを導入する必要があるかどうかについて常に最新情報の確認を欠かしません。MULTIVAC グループのこの系列会社は、ラベリング装置と検査機器の技術センターとしての機能を持つ会社です。MULTIVAC Marking & Inspection 社は、OEM として自社製品だけでなく、高品質で信頼性の高いビデオジェットのシステムも提供して設置しています。

サーモフォーム包装機をプリンタに接続する場合、第 3 の選択肢としてメーカーを限定せずプリンタを選ぶ場合もあります。「当社は、クライ

アントに対して最高の知識と提案をお届けしたいと考えています。当社では実用的なノウハウを提供することができて、特に優れた実績のある製品については自信を持ってお勧めしています。当社がビデオジェットに信頼を置いているのは、まさにこういった理由からです」と、MULTIVAC 社カスタマーサービス部門の Marquardt 氏は締めくくりました。当社が推奨するプリンタに対して顧客が異を唱えることもよくあることで、予算上の理由で顧客の要望に合わせることもめずらしくありません。ただし、その選択が結果的にコストのかかる誤った投資だったことはすぐに分かることになります。

「予算的に最も魅力的な決断であることから最初は低価格の印字ソリューションを第一に選択する顧客もいます。しかしこのような場合、結果的に 6 か月後には別のプリンタに変える必要が出てくるのです」と Marquardt 氏は言います。「プリンタ性能が十分でないことはよくあります。特に高速ラインの場合は顕著です。」

低価格のプリンタは、一定以上の速度になると印字の明瞭さや信頼性が損なわれ、生産ラインスピードには何とかついて行っているものの印字品質が犠牲になってしまうわけです。結局のところ印字技術が包装機の処理能力を制限することになり、当社の装置の能力のネック部分となってしまいます。「要するに、当社の装置が顧客の利益を生み出す決め手となるわけです。」と、Marquardt 氏はそのメリットを一言で表現します。重要なのは、多くの製品をできるだけ迅速かつ利用しやすい方法で包装することです。そのためには、シンプルで作業者の作業を最小限にした高度に自動化されたシステムであることが第一です。高品質の印字ソ



**MULTIVAC**  
BETTER PACKAGING



ソリューションならば、使われている印字技術に関わらず、大きなリターンが期待できます。印字技術は、印字対象ワークや用途に応じて決まります。「紙に色付きの印字を行いたい場合は、インクジェットプリンタが最適なソリューションであるといえます。この場合、他の印字技術では期待された結果をだすことはできません」と、Marquardt氏は説明します。他の用途であれば、熱転写式の産業用サーマルプリンタがお勧めで、最近ではビデオジェットのCO<sub>2</sub>レーザーマーカ―も選択肢の1つになるでしょう。

ドイツや欧州では、レーザーによる直接のマーキングは一般的ではありませんが、ビデオジェットが提供するこの次世代の技術の長所は明らかで、これはさらなる利益とコストダウンにつながる技術です。「ある用途で、レーザー方式のラベリングが第1の選択肢でした」と、ソリューションの使用を検討していました。「汎用性が高いことに加え、レーザーマーカ―を採用することで多くの問題が解決できると考えました」

プログラムの柔軟性、設置性の良さ、切り替えの迅速さ、実質的に消耗部品の必要がないことも、重要な要素です。

MULTIVAC社からの第一の要件は最高のプログラム性能でしたが、ビデオジェットのレーザーマーカ―が十分に満たすことのできる要件でした。ビデオジェットのプリンタやレーザーマーカ―のユーザーインターフェイスはすべて使いやすく設計されており、システムは総合的な一連のコマンドを理解しています。

プリンタは独立して機能することも可能ですが、サーモフォーム包装機とビデオジェットのシステムは、通信で接続することで完全に同期して動きます。同期にはさまざまな方法があります。回転エンコーダ、時間測定やデジタル式の送り速度の再伝送の情報などを利用した結果、常に正しい内容が包装の正しい位置に印字できるようになります。

また、プリンタユニットの安全回路内への統合は、安全性確保の面で重要です。例えば、レーザーマーカ―の筐体が開くと同時に包装機は停止します。さらに、機械が開いたり停止したりした場合、安全スイッチでレーザー発光を即座に停止させます。

タスク選択時の迅速さや、マーキング可能な画像の多様性は、ビデオジェットのレーザーマーカ―システムと他社製品との違いを際立たせるさらなるメリットです。

Marquardt 氏の経験では、このようなメリットを持つプリンタは、グラフィックスやアジア圏の文字のような複雑な用途向けに最高の条件になります。

中国の顧客が MULTIVAC 社の機械に特別に求めた要件は、摩耗部品の交換が最小限であることと、消耗部品ができるだけ少ないことでした。ビデオジェットの CO<sub>2</sub> レーザーマーカシリーズは、この条件を満たすのに最適な装置でした。

計画段階で前もって優れた性能については明らかでしたが、実際に稼働させるとさらに装置の性能の良さが際立ちました。システムの操作が簡単であるだけでなく、品質保証を確実にするための機能が、誤ったジョブ選択を実質排除します。

この点がビデオジェットの製品の大きな魅力です。Thomas Marquardt 氏の結論はこうです。「ビデオジェット製品を使うことで、非常にスムーズな稼働が期待できます」



TEL: **0120-984-602**  
E-mail: **info@videojet.co.jp**  
または当社のホームページ  
**www.videojet.co.jp** をご参照ください

ビデオジェット社  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10  
テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2014 Videojet X-Rite K.K. – all rights reserved.

当社は継続的に製品の改善に努めており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。  
20151022

 **VIDEOJET**